

ペットにはあなたがすべて

幸せになれない命を増やさないために

コロナ禍のステイホームで、ペットを飼う人が増えました。多くは「家族と同じかけがえない存在で、大切に扱うのは当たり前」と感じているでしょう。一方で、人間の身勝手な都合や経済的理由で飼育放棄が増えている現実もあります。この問題について、私たちがどう向き合うべきか考えてみませんか？

さーぼろ

つむぎちゃん



動物、人、すべてに
笑顔が広がる。明日につながる **あすまいる**

三重県動物愛護推進センター、愛称「あすまいる」は、イヌやネコの殺処分ゼロを目指して2017年に開設されました。

県内の各保健所に収容されたイヌ、ネコが幸せな未来を送れるよう、大切に育ててくれる新しい飼い主へ譲渡しています。

22年度はやむを得ず殺処分されたイヌ・ネコの数ゼロとなりました。

譲渡の主な条件

- ・ 三重県内在住
- ・ 同居家族全員の同意
- ・ ペット飼育可の住居に住んでいる
- ・ イヌ、ネコを最期まで大切に飼える
- ・ 完全室内飼育（ネコのみ）
- ・ 不妊・去勢手術の実施 など

譲渡成立までのながれ

- ① 迎え入れたいイヌ、ネコを伝える
 - ② 譲渡について説明を受け、申し込み
 - ③ 飼育環境を整え、飼育（トライアル）
 - ④ 手数料を支払い、譲渡成立
- ・ 譲渡以降、保健所の職員が飼育状況の確認（方法、回数は場合により異なる）

1しつかり/ 飼う前に考えよう

イヌやネコが好きな人、嫌いな人は全体から見れば少数派です。多くの中立的な立場。しかし周りのことを考えずに飼うと対立が生まれ、人も動物も不幸になります。

例えば、エサは家で与えるが、自由に外へ出られる飼い方をしていると、他人の庭でフンをしたり、車にひかれたりしてしまうこともあるかもしれません。

同センターの佐々木友美所長（獣医師）は「生き物を飼うには、命を預かる自覚と覚悟が必要」とした上で、「最期まで飼いきるための責任について考え続けることが大切です」と話していました。

クラウドファンディング

三重県は「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術と子猫の育成サポート」のためのクラウドファンディングを実施しています。継続的な活動とするために、費用の一部を募集しています。

飼い主のいないネコを減らす取り組みの一つとして、そのネコを捕獲し、不妊・去勢手術をして元の地域に戻し、一代限りの命を見守る活動の支援。

子ネコの譲渡を促進するため「子猫育成サポーター制度」による子ネコの育成。



クラウドファンディング
ホームページ



子猫の育成をサポートする「子猫育成サポーター制度」を実施しています。



イヌ・ネコの飼育や
譲渡には予約が必要で
す。

飼う前にチェック！10項目

- ☐ 毎日十分な運動をさせられるか
- ☐ 動物を飼える住まいか
- ☐ 家族は動物を飼うことに賛成か
- ☐ 動物アレルギーはないか
- ☐ 引っ越し、転勤の予定はないか
- ☐ 飼育コストの給食はしてあげられるか
- ☐ 病気やけがのときに病院へ連れて行けるか
- ☐ 近所迷惑にならないか
- ☐ 高齢になっても介護をしてあげられるか
- ☐ 万が一、飼えなくなったときの対応策があるか

新しい飼い主さんにお会いしました

譲渡のイヌを迎えに来た津崎さん夫妻一名張市。



⑧ 佐々木友美所長 ⑨ 津崎さん夫婦

「お迎えするのはこの子で3回目です。保護犬たちが来てから家族の会話が増えました」と、ペットのいる幸せな時間を話していました。

飼い主のいないネコの 不妊・去勢手術

- ・ 手術したネコは、目印として片方の耳の一部をカットします。
- ・ 三重県は、どうぶつ基金とも連携し、この活動を推進しています。



「さくらねこ」を
ご存じですか？

片耳がサクラの花びらのような形をした、手術済みのネコのこと。

※「さくらねこ」はどうかつ基金の登録済猫です

三重県動物愛護推進センター あすまいる

津市森町 2438-2

☎ 059-253-1238

開館時間：9:30～16:30

休館日：水曜・土曜（祝日を除く）

祝日の翌平日、年末年始

